

幼児文化芸術

ウクライナに学ぶ

今年二月世界を震撼させる戦争が起きました。気候変動や食糧危機が叫ばれる地球時代に、未だ命を奪う惨事が続くことに、悲しみとともに虚しさを感じます。

この間私たちは「ウクライナ」という国を深く知りました。その歴史は古く、中世にはキエフ大公国という強力な国家でした。

一九九一年独立後の国土は、日本の一・六倍、人口約四千万人の中立的国です。戦争による私たちの食料品(パンやパスタ)の価格高騰は、この国の小麦生産量を物語っています。

先日、本財団の夏季研修会講師をお願いしたウクライナの女性とお話しました。私が「ウクライナといえば？」と尋ねると、彼女は「コザックダンス」、「ボルシチ」と答えました。私はどちらもロシア文化と思っていたので、この国の伝統を再認識した一時でした。

世界にはたくさんさんの国と文化があります。本財団では、子どもたちが様々な文化芸術を通して表現する楽しさ、すばらしさを味わいます。また年に一度会員園が集う「幼児文化芸術祭」では、希望の歌(交響曲第九番編曲)合唱、親子舞踏会(ワルツ)に参加します。

盛夏の候、海の向こうの終戦を祈り、改めて平和と文化芸術の尊さを強く感じています。

(財) 幼児文化芸術協会 岡田勝彦

2022年7月吉日

第27号

発行:



一般財団法人
幼児文化芸術協会



名古屋西幼稚園

和太鼓の響きに感動しました!

六月二日は、文化芸術体験教室がありました。今回は「和太鼓」日本の響きを感じてみようという事です。講師は大治太鼓尾張一座の方です。講師の方から和太鼓と言っても宮太鼓(みやだいに)に締太鼓(しめだいに)、桶胴太鼓(おけだいに)この三種類があることを教えて頂きました。そして、子どもたちは長胴太鼓が大きな木を切つて中をくりぬいて牛の皮を張って作られていることに大きな驚きを受けていました。

太鼓の紹介の後、一人ずつ交代で体験しました。みんなでリズムを合わせて力強く打ちましたが、どの子も太鼓の大きく響く音に興奮しながら楽しそうです。最後はかっこよく決めポーズ、バッチリ決まっていましたよ!

ききょう(年長)さんは、華麗なバチさばきのパフォーマンスを観た後、笛と太鼓、歌に合わせて炭坑節を踊りました。子どもたちは、太鼓のリズムに合わせて楽しく踊ることができ、一足早い盆踊りの気分を味わいました。

会員園トピック

志だみ幼稚園

金管楽器

五月二十五日(水)は本園の「わくわくタイム」の日。毎週水曜日、学年の枠を超えて一つのテーマを決めて園全体で遊ぶ取り組みをしています。その中で文化芸術体験として、今日のテーマは「金管楽器」。本物の金管楽器の音色に触れてみました。

年間五回、そして三年間の中で本物の文化芸術に触れる機会を作っています。技や技術の習得ではなく心に響く体験を目的にしています。

「トランペット」や「トロンボーン」、「ユーフォニアム」など、大きさも形も違う楽器を見て、子どもたちも興味津々でした。進行役のノムノムとめぐちゃんの、楽器を交えての寸劇も楽しい時間の一つでした。大きな音が出ると耳をふさぐ子もいて、生の音の迫力を体全体で感じているからこそ、ほほえましいワンシーンでした。



会員園ご紹介

- 栄光八事幼稚園(天白区)
- 小幡あさひ幼稚園(守山区)
- 志だみ幼稚園(守山区)
- とみよし幼稚園(愛西市)
- 名古屋西幼稚園(西区)
- 鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)
- 美里幼稚園(豊田市)

※50音順

Information

第9回 夏季保育者研修会

今年度は、8/1に開催します。

保育者の皆さんが集まり、文化芸術に親しむ体験プログラムを実践し、幼児教育のレベルアップを目指します。

☆研修内容☆

<第1部> 「幼稚園の危機管理」

講師: 愛知県立大学 清水 宣明 先生

<第2部> 「ウクライナの文化と音楽・歴史」

講師: 日本ウクライナ文化協会

副理事長 榊原 ナターリヤ 先生

第9回 幼児文化芸術祭

DVDに収録、3月に配信しました♪

☆収録内容☆

- 希望の歌～交響曲第九番～(年長児・保護者出演)
- 親子ワルツ(年中児・保護者出演)
- その他様々な文化芸術の祭典

